

「2019 年台風 19 号災害に関する最終報告会」を東北学術合同調査団としてオンライン開催しました（2020/11/20）

テーマ：2019 年台風 19 号、河川氾濫、地盤災害・土砂災害、災害対応
場所：オンライン

2019 年台風第 19 号による東北地方の災害は広範囲にわたり、多数の犠牲者と多大なインフラ被害をもたらしました。この災害を受け、(公社)土木学会、(公社)地盤工学会、(公社)日本地すべり学会の各東北支部、および東北大学災害科学国際研究所は、連携して東北学術合同調査団を設置し、被害調査・被害メカニズムの解明に当たってきました。11 月 20 日(金)、合同調査団は最終報告会をオンラインで開催し、岩手県・宮城県・福島県に関する詳細な分析結果や、被害状況の包括的なまとめ、豪雨災害に対する今後の課題などを重点的に報告し、当研究所からは、今村文彦所長(災害リスク研究部門 津波工学研究分野 教授)と森口周二准教授(地域・都市再生研究部門 計算安全工学研究分野)が発表を行いました。また、発表者は、参加者から寄せられた質問をもとに意見交換を行いました。

最終報告会の運営は、森口准教授および当研究所広報室が支援を行いました。報告会当日の参加者は 134 名におよび、東北 3 県のみならず首都圏や九州など遠隔地からも参加がありました。

当日プログラム

1. 開会挨拶
田中 仁(合同調査団団長、東北大学工学研究科)
2. 水工学関係調査報告
田中 仁(土木学会東北支部代表、東北大学工学研究科)
3. 地盤災害・土砂災害調査報告(福島県・宮城県)
森口 周二(地盤工学会東北支部代表、東北大学災害科学国際研究所)
4. 地盤災害・土砂災害調査報告(岩手県)
大河原 正文(日本地すべり学会東北支部代表、岩手大学)
5. 災害対応調査報告<避難体制、歴史、医療、復旧・復興>
今村 文彦(東北大学災害科学国際研究所所長)
6. 意見交換会(ディスカッション)
コーディネーター：飛田 善雄(合同調査団渉外・広報委員会委員長および顧問、東北学院大学)
7. 閉会挨拶
京谷 孝史(合同調査団副団長、東北大学)

東北学術合同調査団ページ(外部ページ) <https://sites.google.com/view/hagibistohoku>



発表者集合写真